



最先端の技術で再発防止に取り組む行田市に期待

下水道管路メンテナンス技術の高度化・実用化推進会議

委員長 加藤 裕之氏

中央大学研究開発機構教授(令和8年5月現在)

経歴

1960年横浜生まれ。早稲田大学大学院修了。昭和61年4月建設省下水道部に入省、滋賀県下水道課長、日本下水道事業団計画課長、国土交通省下水道部下水道事業調整官、下水道事業課長などを歴任し退職。東京大学大学院都市工学専攻下水道システムイノベーション研究室特任准教授を経て現職。

ドローンを使用した調査を普及させるためには、多くの自治体の取り組みが必要不可欠で、ドローンの導入に全国の自治体で取り組んで欲しいと考えています。

行田市とNTT東日本株式会社の協定は来年3月までの協定期間ですが、実証実験の成果が出ることで、このような取り組みが全国に広がることを期待しています。

不幸な事故がありました。それを教訓に市長が先頭に立ち、最先端の技術で再発防止を目指す行田市の取り組みには敬服しています。安全への引き続きの努力を期待しています。

市の役割

ドローンによる点検データの提供、実証実験の効果検証に対するフィードバックを行うことで、ドローンやAI診断技術の本格実装に向けた技術検証と改善に寄与します。

また、この実証実験の結果などを踏まえて、DXを活用した下水道管路の持続可能な維持管理の制度設計を構築するとともに、こうした新技術の活用・導入を促進するための先進事例を提供することで、全国の自治体やインフラ設備関連事業者における安心・安全なインフラの維持管理業務の実現につなげます。

市の方向性

この会議では、下水道管路の点検・維持管理における新技術の活用を前提とした仕組みへの転換について議論されました。

市では、ドローン、AIなどの技術を活用しながら、現場作業のより高い安全性の確保、人手不足への対応、予防保全型の維持管理体制の構築を図り、市民の皆さんの生活を支える下水道管路の安全対策の強化、適切な維持管理を進めていきます。

私たちにも
できること

一人一人の少しの心掛けで、下水道を安全・快適に使うことができます

私たちの生活に欠かすことのできない下水道を守るためには、下水道管路の維持管理だけでなく、日頃からの一人一人の取り組みも必要です。

油は使い切る・ふき取る・吸い取る

下水道に油を流すと、冷えて固まり滞留します。固まった油が堆積して管が詰まって流れなくなる他、宅内で汚水が溢れ出す原因にもなります。



使い切る:

残った油はこし器に移し、炒め物などで使い切りましょう。

ふき取る:

鍋や皿に付いた油污はふき取ってから洗きましょう。

吸い取る:

使えなくなった古い油は、新聞紙などで吸い取るか、油を固める製品を使って、燃えるゴミとして出しましょう。

トイレトーパー以外は流さない



水洗トイレに水に溶けない紙、生理用品、紙おむつ、タバコやガムなどを流すと、詰まりの原因となります。

食べ残しや野菜くずを流さない

下水道に食べ残しや野菜くずを流すと、詰まりの原因になる他、腐敗して悪臭や害虫発生の原因にもなります。



▶問い合わせ 下水道課 ☎564-0303

下水道管路メンテナンス技術の高度化・実用化推進会議



下水道管路メンテナンス技術の高度化・実用化推進会議

令和7年10月8日、国の「下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた対策検討委員会」の提言を踏まえて、管路メンテナンスの高度化に資する技術の現場への実装と普及に向けた有識者・実務者による推進会議が開催されました。

この会議の委員は、学識者や東京都、県、市、業界団体で構成されており、政令指定都市や中核市以外で唯一本市も委員として選出されています。

これまでの会議のポイント

第1回

令和7年10月8日

課題整理と検討枠組みの設定

- 全国特別重点調査を踏まえた技術課題の整理
- 技術ニーズの把握



第2回

令和7年11月20日

技術開発の方向性

- 人が入れない場所、危険な場所への対応と技術開発の方向性
- 無人化・遠隔化の必要性



第3回

令和7年12月25日

具体的な技術開発目標と重点分野

- 技術開発目標の設定
- AI画像診断の活用
- ドローンなどの新技術の普及検討



第4回

令和8年3月12日

実装・普及のロードマップ化

- ドローン技術の普及ロードマップ
- 自治体事例の共有
- AI診断などの検討

下水道管路メンテナンス技術の高度化・実用化推進会議委員(令和8年3月時点)

分類	氏名	役職
委員長	加藤 裕之	東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻特任准教授
委員	小野 潔	秋田県建設部長
委員	北田 健夫	埼玉県下水道事業管理者
委員	川上 直之	東京都下水道局計画調整部技術開発担当部長
委員	秋葉 雅章	愛知県建設局治水防災対策監
委員	秋山 啓	札幌市下水道河川局事業推進部管路担当部長
委員	井深 清	横浜市下水道河川局下水道管路部長
委員	根門 晋治	名古屋市上下水道局管路部長
委員	谷田 聡	京都市上下水道局下水道部長
委員	宮崎 博明	大阪市建設局下水道部長

分類	氏名	役職
委員	藤井 良和	福岡市道路下水道局総務部長
委員	高橋 栄一	行田市都市整備部長
委員	河西 勉	横須賀市上下水道局技術部長
委員	稲垣 裕亮	公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会会長
委員	深谷 渉	公益社団法人日本下水道管理業協会技術顧問
委員	永長 大典	公益社団法人日本下水道協会技術部長
委員	細谷 祐之	一般社団法人日本管更生技術協会理事
委員	友部 秀久	一般社団法人日本管路更生工法品質確保協会事務局長
委員	大森 由明	一般社団法人日本下水道光ファイバー技術協会常務理事